



## 新機能および変更された機能に関する情報

- [新機能および変更された機能に関する情報 \(1 ページ\)](#)

## 新機能および変更された機能に関する情報

次の表に、Cisco DNA Center 2.3.5 の新機能および変更された機能の概要と参照先を示します。

機能	説明
カスタム AP プロファイルのサポート	<p>AP プロファイルは、AP 認証設定、aWIPS、不正管理、およびメッシュ設定を統合します。AP プロファイルを使用すると、AP を管理およびプロビジョニングできます。</p> <p>Cisco DNA Center は、Cisco IOS XE デバイスと Cisco AireOS デバイスのデフォルトの AP プロファイルを提供します。Cisco IOS XE デバイスと Cisco AireOS デバイスのカスタム AP プロファイルを作成できます。</p> <p><a href="#">AP プロファイル</a>、<a href="#">Cisco IOS XE デバイスの AP プロファイルの作成</a>、<a href="#">Cisco AireOS デバイスの AP プロファイルの作成</a>、<a href="#">ネットワークプロファイルの AP グループ</a>、<a href="#">Flex グループ</a>、<a href="#">サイトタグ</a>、および<a href="#">ポリシータグの事前プロビジョニング</a>、および<a href="#">ワイヤレスメッシュネットワークについて</a>を参照してください。</p>
AP 電力プロファイルのサポート	<p>Cisco IOS XE リリース 17.10.1 以降を実行している シスコワイヤレスコントローラの AP 電力プロファイルを作成できます。AP プロファイルに関連付けることにより、AP 電力プロファイルを AP に割り当てることができます。AP 電力プロファイルの複数のルールを定義し、ルールの順序を指定できます。</p> <p><a href="#">AP 電力プロファイルの作成</a>を参照してください。</p>
ソフトウェアイメージ管理の HTTPS プロトコルのサポート	<p>HTTPS プロトコルサポートは、シスコ組み込みワイヤレスコントローラでソフトウェアイメージを管理できるように拡張されています。</p> <p><a href="#">イメージ配信サーバーのプロトコル順序の変更</a>を参照してください。</p>

機能	説明
アプリケーション可視性サービスの有効化におけるインターフェイスの除外	<p>アプリケーション可視性サービスの有効化でインターフェイスを除外することができます。</p> <p>アプリケーションの可視性サービスを有効にする <a href="#">Day 0 セットアップウィザード</a> を参照してください。</p>
基本 RF プロファイルと AI RF プロファイルの機能拡張	<p>基本無線周波数 (RF) プロファイルの次の設定を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• カバレッジホール検出</li> <li>• フレキシブル ラジオ アサインメント (FRA)</li> <li>• 802.11ax</li> </ul> <p>AI RF プロファイルの次の設定を指定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• カバレッジホール検出</li> <li>• 802.11ax</li> </ul> <p><a href="#">ワイヤレス無線周波数プロファイルの作成</a>、<a href="#">AI無線周波数プロファイルの作成</a>、<a href="#">Dot11ax 設定のモデル設定設計の作成</a>、<a href="#">高度な SSID のモデル設定設計の作成</a>、および<a href="#">RRM FRA パラメータのモデルkousei 設定設計の作成</a>を参照してください。</p>
エンタープライズおよびゲストワイヤレスネットワークのクライアントレート制限設定のサポート	<p>エンタープライズおよびゲストワイヤレスネットワークの SSID を作成するときに、Cisco IOS XE デバイスでクライアントレート制限を設定できます。</p> <p><a href="#">エンタープライズワイヤレスネットワーク用 SSID の作成</a>および<a href="#">ゲストワイヤレスネットワークの SSID の作成</a>を参照してください。</p>
RF プロファイルの PSC 適用のサポート	<p>基本 RF プロファイルと AI RF プロファイルの 6 GHz 無線タイプに対して優先スキャンチャンネル (PSC) の適用を有効にできます。</p> <p><a href="#">ワイヤレス無線周波数プロファイルの作成</a>および<a href="#">AI無線周波数プロファイルの作成</a>を参照してください。</p>
エンタープライズおよびゲストワイヤレスネットワークの高度な WLAN パラメータ設定のサポート	<p>エンタープライズおよびゲストワイヤレスネットワークの SSID を作成するときに、次の高度な WLAN パラメータを設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• AAA オーバーライド</li> <li>• MPSK の設定</li> <li>• 保護された管理フレーム (802.11w)</li> <li>• カバレッジ ホールの検出</li> </ul> <p><a href="#">エンタープライズワイヤレスネットワーク用 SSID の作成</a>および<a href="#">ゲストワイヤレスネットワークの SSID の作成</a>を参照してください。</p>

機能	説明
Resilient Ethernet Protocol (REP) リングのサポート (非ファブリックデバイス)	非ファブリックデバイスの REP リングのサポートが S5800 に拡張されました。 <a href="#">デバイスの REP リングを構成する</a> を参照してください。
ネットワーク設定のコンプライアンスサポートの拡張	デバイスのネットワーク設定のコンプライアンスを確認できます。 [Compliance Summary] ウィンドウの [Network settings] に違反が表示されます。 <a href="#">コンプライアンスのタイプ</a> を参照してください。
Cisco Umbrella のコンプライアンスサポートの拡張	Cisco Umbrella で設定されたスイッチまたはシスコ組み込みワイヤレスコントローラのコンプライアンスを確認できます。 [Compliance Summary] ウィンドウの [Workflow] に違反が表示されます。 <a href="#">コンプライアンスのタイプ</a> を参照してください。
コンプライアンス違反の修正	Cisco DNA Center は、コンプライアンスの実行中に特定されたデバイスのコンプライアンス違反を自動的に修正します。 <a href="#">コンプライアンス違反の修正</a> を参照してください。
LAN 自動化の機能強化： <ul style="list-style-type: none"> <li>• 新しい GUI</li> <li>• 複数の LAN 自動化セッションのサポート</li> </ul>	<p>LAN 自動化の新しいユーザー インターフェイス ウィンドウは、次のような 0 日目と N 日目両方の操作をサポートします。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• LAN 自動化セッションの開始と停止</li> <li>• レイヤ 3 インターフェイスリンクの追加と削除</li> <li>• 新たに検出されたデバイスの表示</li> <li>• プロビジョニングされたデバイスの表示</li> <li>• LAN 自動化セッションの履歴の確認</li> <li>• セッションログ、新たに検出されたデバイスのログなどの表示</li> </ul> <p>サイト間で複数 (最大 5 つ) の LAN 自動化セッションを同時に実行できます。ただし、各サイトで有効にできる LAN 自動化セッションは 1 つだけです。</p> <p><a href="#">LAN の自動化、LAN 自動化によるネットワークのプロビジョニング、インターフェイス間のリンクの作成、およびインターフェイス間のリンクの削除</a>を参照してください。</p>
Cisco SD-Access ファブリックの強化されたマルチキャスト機能	Cisco SD-Access マルチキャスト機能は、複数の外部 RP 設定、ASM グループから RP へのマッピング、およびレイヤ 3 仮想ネットワークごとの同時 ASM、SSM 設定に対応するように強化されています。 <a href="#">マルチキャストの設定</a> を参照してください。

機能	説明
Cisco SD-Access ファブリックの単一の有線 MAC アドレスにおける複数の IPv4 アドレスのサポート	<p>複数の IPv4 アドレスを持つ有線エンドポイントを Cisco SD-Access ファブリックに接続できます。</p> <p><a href="#">エニーキャストゲートウェイの作成</a>を参照してください。</p>
SD-Access トランジットによるネイティブマルチキャストのサポート	<p>SD-Access トランジットに接続されている複数のファブリックサイトがあるネットワークで SD-Access ネイティブマルチキャストを設定できます。Cisco DNA Center は、ボーダーノードと SD-Access トランジットでマルチキャストを有効にするオプションを提供します。</p> <p><a href="#">ボーダーノードとしてのデバイスの追加</a>および<a href="#">SD-Access トランジットの作成</a>を参照してください。</p>
テンプレートハブ	<p>[Tools] &gt; [Template Hub] から、[Project Name]、[Template Language]、[Device Family]、[Device Series]、[Commit State]、[Provision Status] に基づいて CLI テンプレートをフィルタ処理できます。</p> <p>[Template Hub] ウィンドウで、ネットワークプロファイルに CLI テンプレートを関連付けることができます。また、新しいネットワークプロファイルも作成できます。</p> <p><a href="#">テンプレートハブについておよびネットワークプロファイルへの CLI テンプレートの関連付け</a>を参照してください。</p>
CLI テンプレートの競合の検出	<p>スイッチング、SD-Access、およびファブリックの CLI テンプレートで潜在的な設計の競合とランタイムの競合を検出できます。</p> <p><a href="#">CLI テンプレートの競合の検出</a>、<a href="#">CLI テンプレートとサービスプロビジョニングインテント間の潜在的な設計競合の検出</a>、および<a href="#">CLI テンプレートのランタイム競合の検出</a>を参照してください。</p>
Cisco DNA Center ジャーニーマップ	<p>Cisco DNA Center ジャーニーマップには、Cisco DNA Center で提供されるさまざまな機能とその使用方法が表示されます。</p> <p><a href="#">Cisco DNA Center ジャーニーマップ</a>を参照してください。</p>
AP 認証設定のサポート	<p>認証された AP のリストを設定できます。AP の MAC アドレス、シリアル番号、またはその両方を使用して、AP のローカルおよび AAA 認証を設定できます。</p> <p><a href="#">AP 承認リストの作成</a>、<a href="#">Cisco AireOS コントローラのプロビジョニング</a>、および <a href="#">Cisco Catalyst 9800 シリーズ ワイヤレス コントローラ のプロビジョニング</a>を参照してください。</p>
エリア内にある AP グループとフレックスグループの再利用のサポート	<p>ワイヤレスのネットワークプロファイルを作成するときに、エリア内のサイト（ビルディングまたはフロア）全体で同じ AP グループとフレックスグループを使用できます。</p> <p><a href="#">ネットワークプロファイルの AP グループ</a>、<a href="#">Flex グループ</a>、<a href="#">サイトタグ</a>、および <a href="#">ポリシータグの事前プロビジョニング</a>を参照してください。</p>

機能	説明
Cisco SD-Access ファブリックサイトにおけるレイヤ2セグメントからのワイヤレスIPアドレスプールのサポート	ファブリックサイトのワイヤレス SSID を設定するときに、レイヤ2セグメント用に設定されたワイヤレス IP アドレスプールを選択できます。 <a href="#">ファブリックネットワークのワイヤレス SSID の設定</a> を参照してください。



## 翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。